



3つの連なる半円は、「豊かな観光資源」を象徴し、
厳島神社やカーブなど、従来からよく知られている広島
のイメージを「赤」で、瀬戸内の穏やかな海や多島美を「青」で、
中国山地の美しい山並みや渓谷美を「緑」で表しています。
そして光は、見直し、発掘し、育てるべき「宝」をイメージしています。

表紙タイトル部：左から/霧の海(三次市)、三段峡(安芸太田町)、上下の町並み(府中市)、厳島神社(廿日市市)、てつのくじら館(呉市)、右上/しまなみ海道(因島大橋)(尾道市)

ひろしま 観光立県 推進基本計画

概要版



広島県商工労働局観光課

〒730-8511 広島市中区基町10-52
TEL 082-513-3388 (ダイヤルイン)
FAX 082-223-2135
メールアドレス: syokankou@pref.hiroshima.lg.jp

表紙背景：上/新緑の龍頭峡(安芸太田町)
下/御手洗から見る多島美(呉市)

計画のねらい

◎県・市町・関係団体等による

目標と課題の共有

◎観光を成長を支える産業の一つと位置付け、地域の発展を意識したビジョンを提示

社会情勢の変化への対応

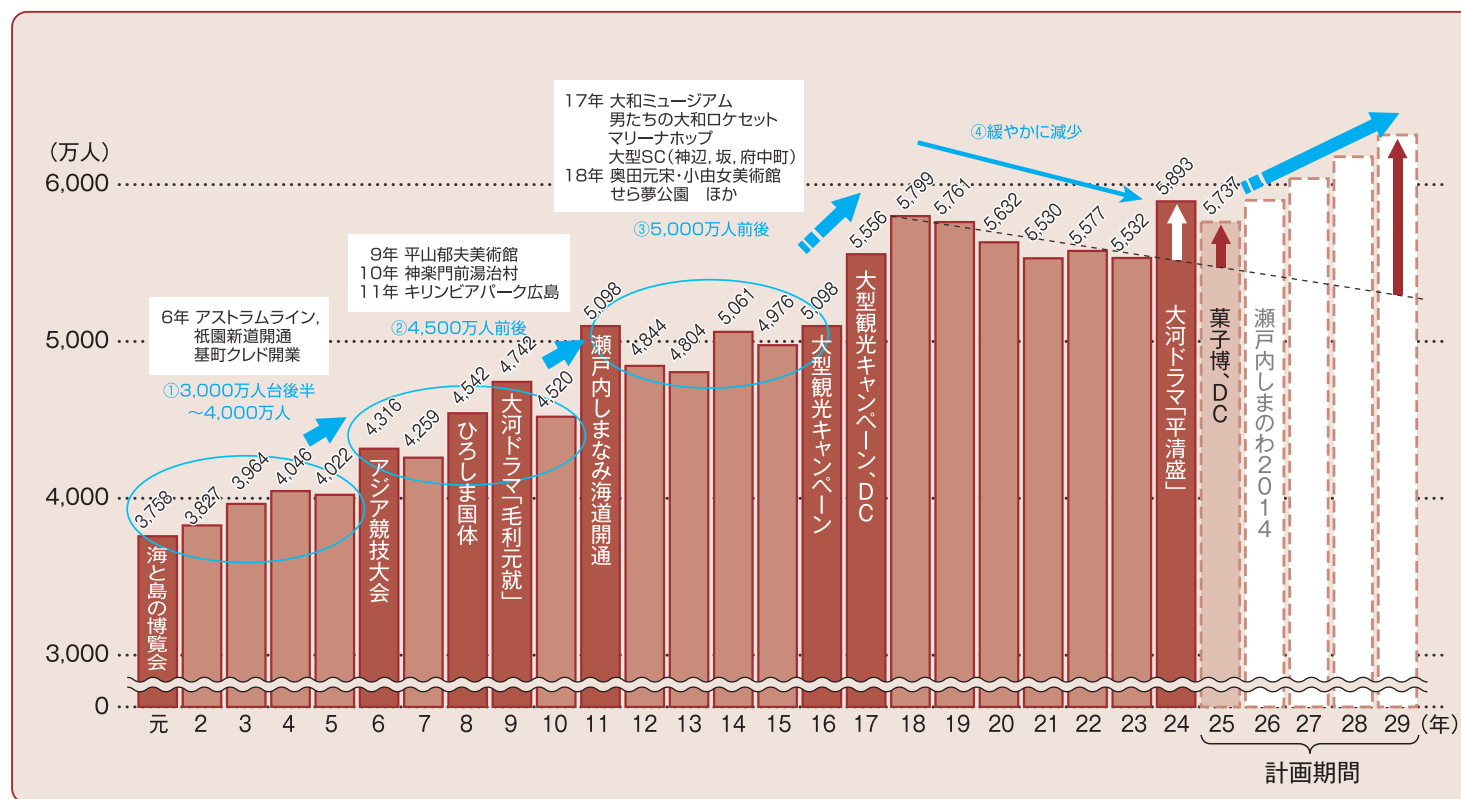
◆人口減少と旅行需要の変化

◎本県の人口は平成10年以降減少。国内人口も、平成20年以降減少が続いている。
◎観光庁「旅行・観光消費動向調査」によると、1人当たり旅行回数等の減少が続いている。

◆観光インフラの整備

◎尾道松江線・東広島呉道路の開通
◎九州新幹線の開業
◎航空ネットワークの充実

広島県の総観光客数の推移



◎大規模イベントとこれに呼応した観光地点・インフラ整備により、階段状に増加を続けてきた。
◎19年～23年は、こうした目立った動きがなく、かつ、人口が減少局面に入り、総観光客数も減少。

目標

	現状値 (平成24年)	目標値 (平成29年)
総観光客数	5,893万人	6,100万人
外国人観光客数	68万人	90万人
宿泊客数	731万人	770万人
観光消費額	3,356億円	3,600億円
来訪者の満足度	50.5%	55%

計画期間 平成25年度～29年度(5年間)

重点的に取り組む施策

- 今後、総観光客数を増加に転じるには、県内観光素材の集客力強化対策が必要
- 今次計画では、魅力ある観光地づくりに重点を置き、県・市町・事業者の協働により、集客力のある魅力的な観光資源の育成及び周遊地点の増加を図る。
- あわせて、来訪者の満足度を高め、再訪者の増加を図るため、県民が一体となって取り組むおもてなしの充実を推進する。

施策の体系

観光立県ひろしまの実現・観光地「ひろしまブランド」の確立

